

2024年3月期  
第3四半期 決算補足説明資料

2024年1月30日

栄研化学株式会社  
(証券コード: 4549)



EIKEN CHEMICAL CO., LTD.

# ■ 2024年3月期 第3四半期累計 連結業績

(百万円)

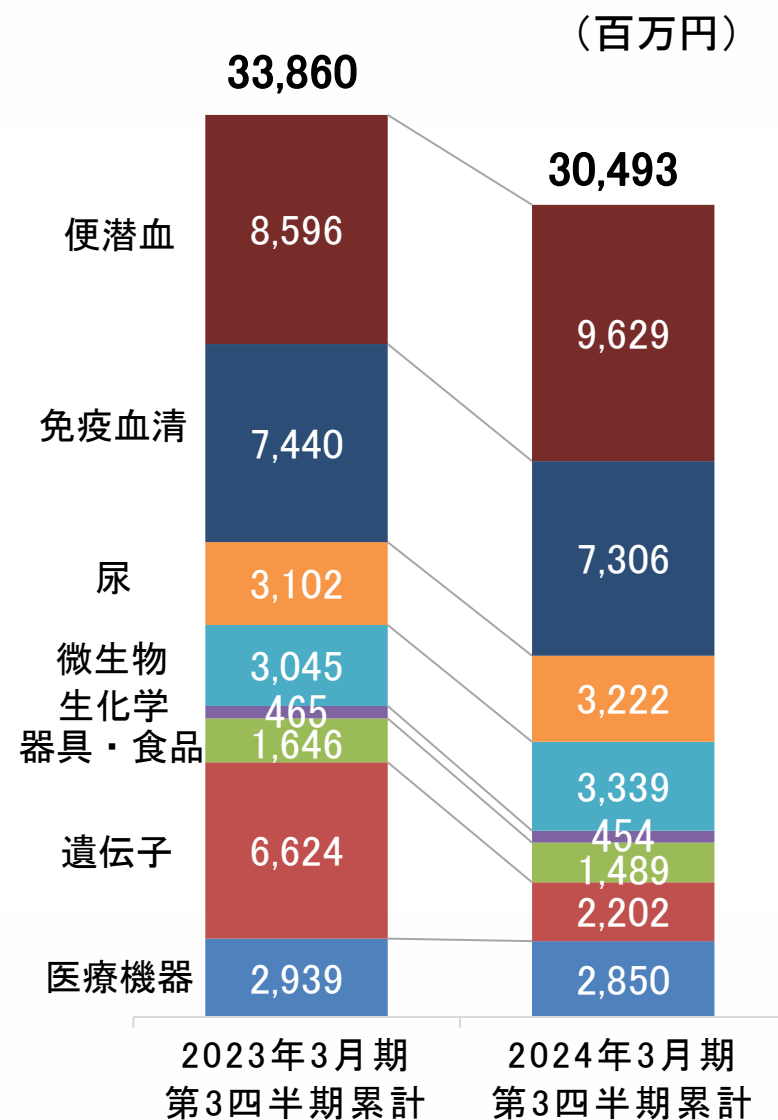
2024年3月期 第3四半期(累計)				
	実績	構成比	対前年同期増減	
売上高	30,493	100.0%	△ 3,367	90.1%
(うち海外向け売上高)	7,696	25.2%	1,109	116.8%
売上総利益	13,068	42.9%	△ 3,479	79.0%
販売費及び一般管理費	9,650	31.6%	101	101.1%
営業利益	3,417	11.2%	△ 3,581	48.8%
経常利益	3,497	11.5%	△ 3,609	49.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,571	8.4%	△ 2,789	48.0%

- 海外事業は順調に推移しているものの、国内の新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類移行により遺伝子検査需要が減少し、LAMP法を用いた新型コロナ検査試薬の売上が大きく減少
- 利益面では高利益品目である新型コロナ検査試薬の売上やLAMP法の特許料収入の減少、および新研究棟稼働に伴う償却費の増加等により減益



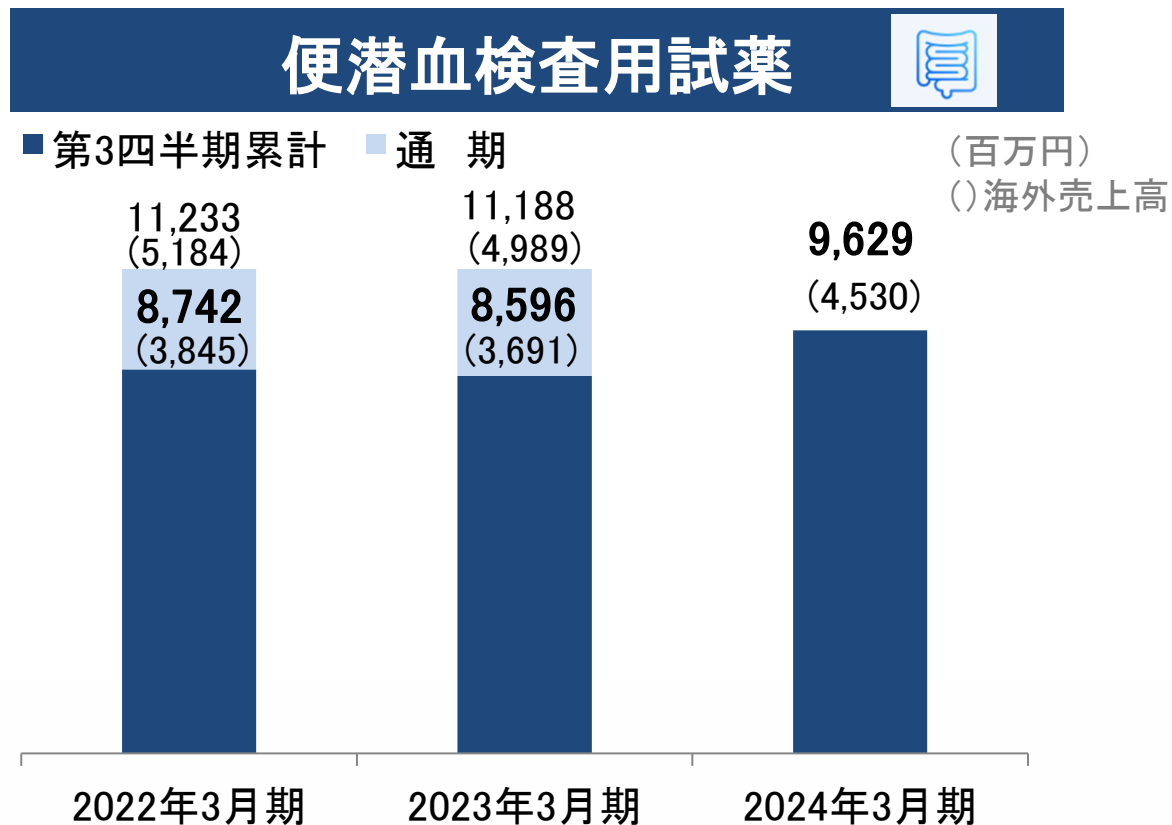
# ■セグメント別売上高

	2024年3月期 第3四半期累計 前年同期比
便潜血検査用試薬	112.0%
免疫血清検査用試薬 (便潜血検査用試薬除く)	98.2%
尿検査用試薬	103.9%
微生物検査用試薬	109.6%
生化学検査用試薬	97.7%
器具・食品環境関連培地	90.4%
遺伝子関連(装置含む)	33.2%
医療機器関連(遺伝子以外)・その他	97.0%
合計	90.1%



# ■セグメント別売上高 – 便潜血検査用試薬

- 国内検診市場はコロナ禍前の状況に回復し増収
- 海外は欧州の主要各国で伸長



大腸がんのスクリーニング検査(一次検査)に使用される検査用試薬  
国内トップシェア※

大腸がんスクリーニング検査FIT※の展開国  
現在46か国



※ FIT:免疫法便潜血検査

※富士経済

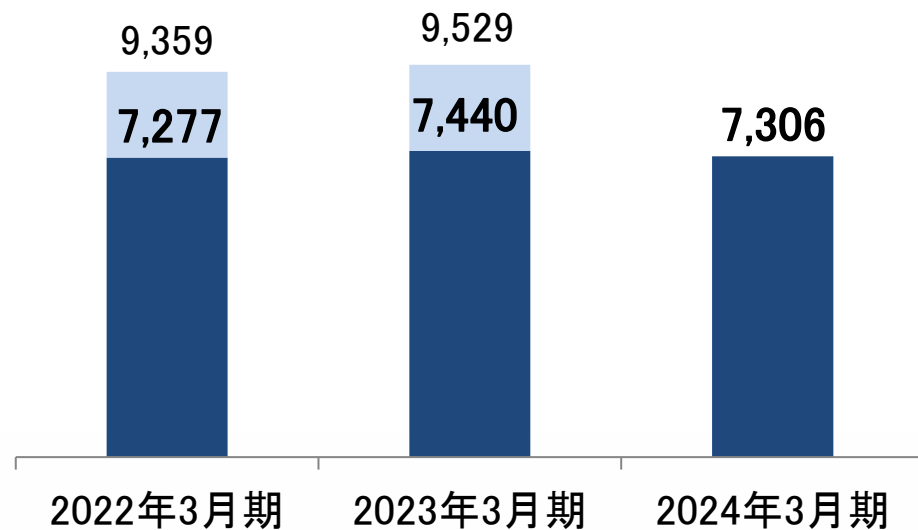
# ■ セグメント別売上高 — 免疫血清検査用試薬・尿検査用試薬

## 免疫血清検査用試薬



➤ 新型コロナの抗原、抗体検査数が減少

■ 第3四半期累計 ■ 通期 (百万円)



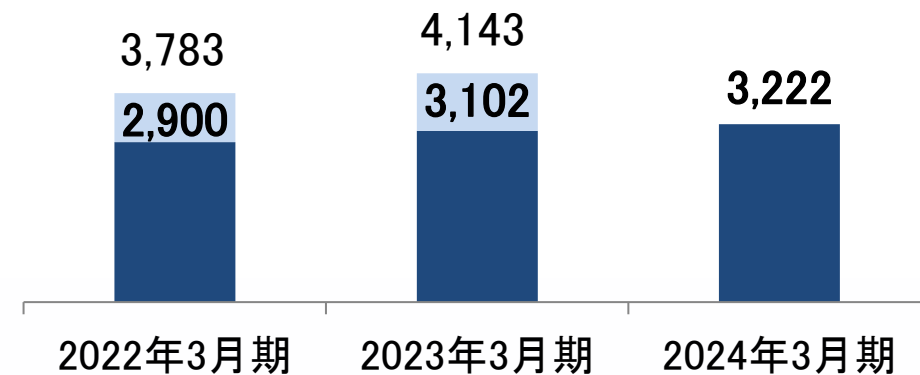
感染症やホルモンの測定、胃がんリスク層別化検査などに使用する各種検査用試薬

## 尿検査用試薬



➤ 外来検査数・検診市場ともに回復

■ 第3四半期累計 ■ 通期 (百万円)



多項目の検査を行うことができる尿検査用試験紙など各種検査用試薬 国内トップシェア※

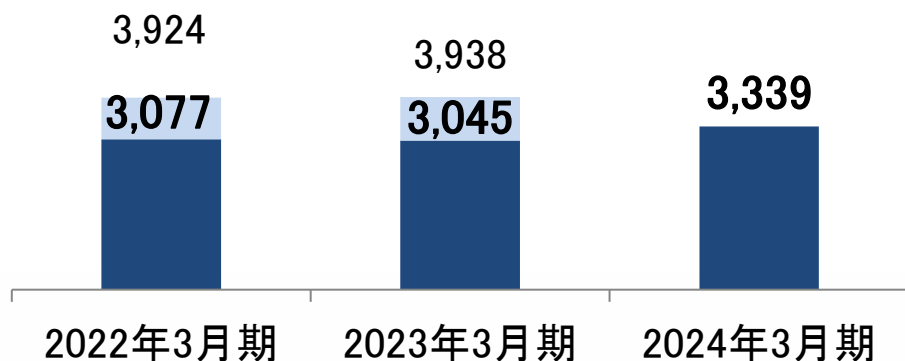
# ■ セグメント別売上高 — 微生物検査用試薬・遺伝子関連(装置含む)

## 微生物検査用試薬



- 新型コロナ以外の感染症関連製品、特に迅速診断キット・薬剤感受性検査用試薬が伸長

■ 第3四半期累計 ■ 通期 (百万円)



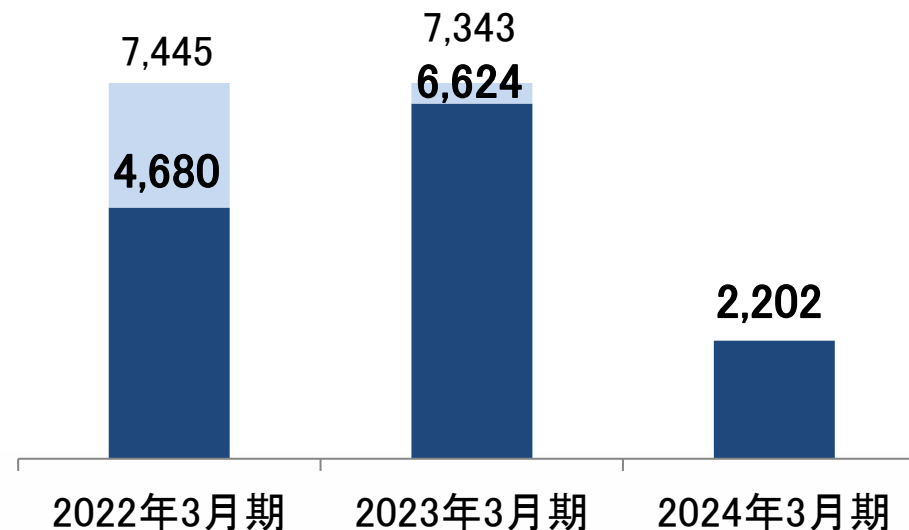
培地、迅速検査用試薬など微生物感染症の診断・治療に有用な各種検査用試薬

## 遺伝子関連(装置含む)



- 新型コロナ検査数の減少
- 特許料収入：314百万円  
(前年同期実績：1,462百万円)

■ 第3四半期累計 ■ 通期 (百万円)



LAMP法を用いた、幅広い分野に展開する遺伝検査関連製品



# ■ 海外向け売上高

## 【欧州】

- 主要各国でのスクリーニングプログラムが順調に推移しFIT※1試薬増収。イングランドにおけるプログラム対象年齢拡大による検査数が増加
- ナイジェリアにおけるTB-LAMPの大規模採用※2

## 【北米】（全てFITについて）

- 郵送・WEB検診事業が順調に推移するも、受発注のタイミングにより一時的に減収
- 化学法使用施設への郵送検診による切替工作継続
- 受診年齢引き下げ、保険会社への拡販継続
- 有症状者の内視鏡トリアージのWEB検診の推奨継続

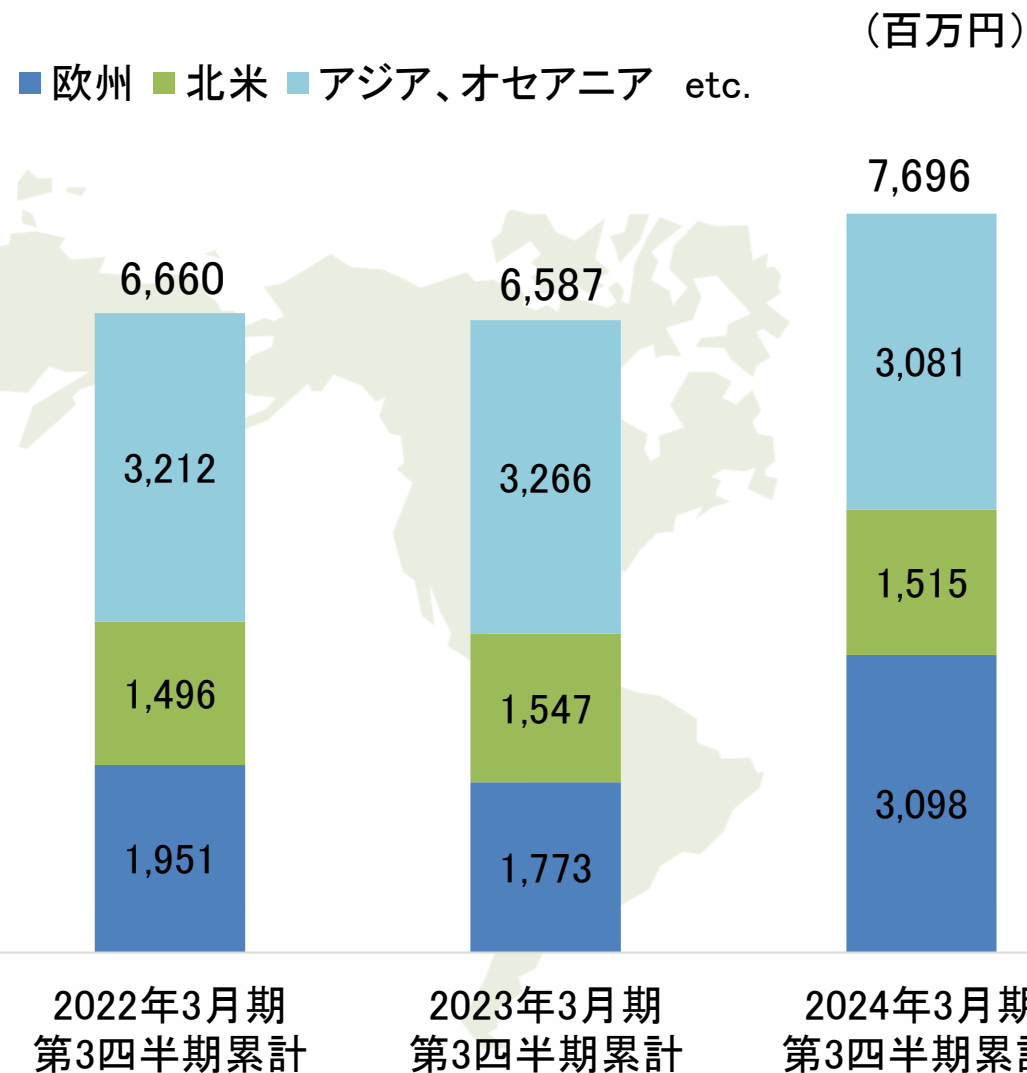
## 【アジア・オセアニア・その他】

- FIT試薬はオーストラリア、韓国で順調に推移し増収
- 一時的な在庫調整によるシスメックスへの装置販売減※3

※1 FIT: 免疫法便潜血検査

※2 開発途上国向けLAMP製品の売上は欧州(代理店)に含む

※3 海外向け尿検査関連製品(シスメックス(株)との提携)の売上はすべてアジア地域に含む





# トピックス TB-LAMPナイジェリアでの取り組み



## ◆誰一人取り残さない結核検査体制の実現



### ナイジェリアにおけるTB-LAMPの大規模採用

巡回健診による積極的結核患者スクリーニングプログラムへの貢献

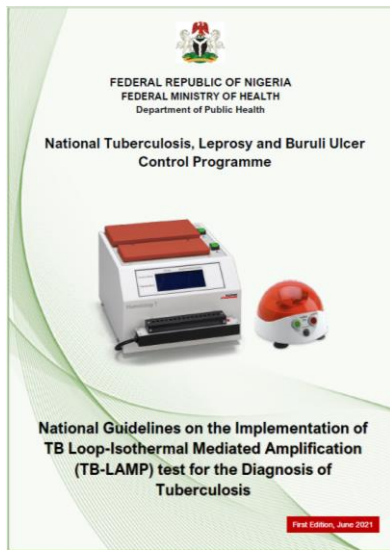
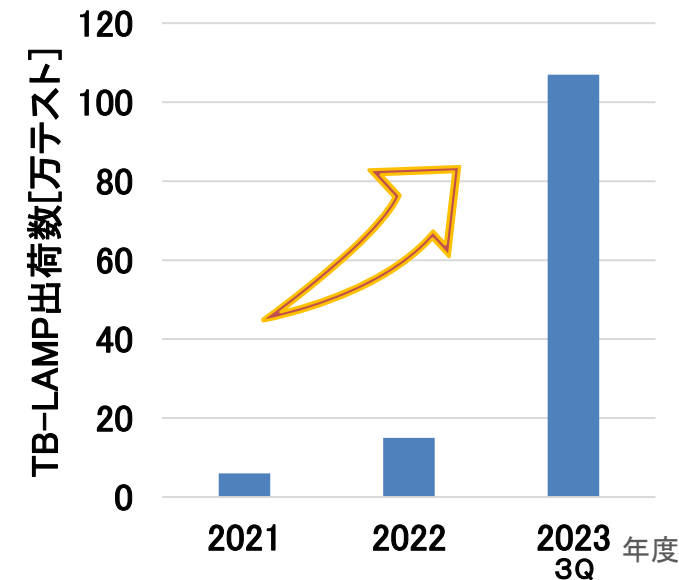


Photo Credit: KNCV Nigeria WoK team



従来プログラム：症状ベースで病院に来る患者のみを検査対象  
今回のプログラム：巡回健診による、見逃されている結核患者の発見

TB-LAMPとは  
LAMP法を用いた開発途上国でも対応可能な結核の遺伝子検査システム。  
2016年にWHOの推奨を取得。

- ・高い感度と特異度
- ・低価格
- ・簡易かつ迅速に検査可能
- ・高い処理能力
- ・ロバストな設計



- ✓ 各国のグローバルファンド予算獲得への水平展開
- ✓ 世界的なNGOなどとの連携による更なるTB-LAMPの認知度向上・普及促進



EIKEN CHEMICAL CO.,LTD.



# 2024年3月期 連結業績予想

## ▶ 通期業績予想を下方修正

	(百万円)			(百万円)					
	期初予想 (2023年4月28日公表)	構成比	修正予想 (2024年1月30日公表)	構成比	修正前後 対比	増減額	対前期比	3Q累計 実績	進捗率
売上高	42,000	100.0%	40,500	100.0%	96.4%	△1,500	93.6%	30,493	75.3%
（うち海外向け売上高）	10,270	24.5%	10,300	25.5%	100.3%	30	117.1%	7,696	74.7%
売上総利益	18,750	44.6%	17,450	43.1%	93.1%	△1,300	85.1%	13,068	74.9%
販売費及び一般管理費	13,370	31.8%	13,410	33.1%	100.3%	40	102.8%	9,650	72.0%
営業利益	5,380	12.8%	4,040	10.0%	75.1%	△1,340	54.2%	3,417	84.6%
経常利益	5,400	12.9%	4,130	10.2%	76.5%	△1,270	54.6%	3,497	84.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,250	10.1%	3,040	7.5%	71.5%	△1,210	53.0%	2,571	84.6%

### ◆ 期初予想から差異が生じた理由

- ✓ 新型コロナ遺伝子試薬について手術前検査等の一定の需要を見込んでいたが、感染症法上の分類移行に伴い遺伝子検査の需要が減少、高利益品目であることから利益にも影響
- ✓ コロナ禍明けに正常化へ向かうと想定していた検査事業で一部回復が遅延
- ✓ 円安や原油高による原材料調達などのコストの上昇



## ■ 配当予想

### 株主還元方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

具体的には連結配当性向30%以上を目標としております。

(円)

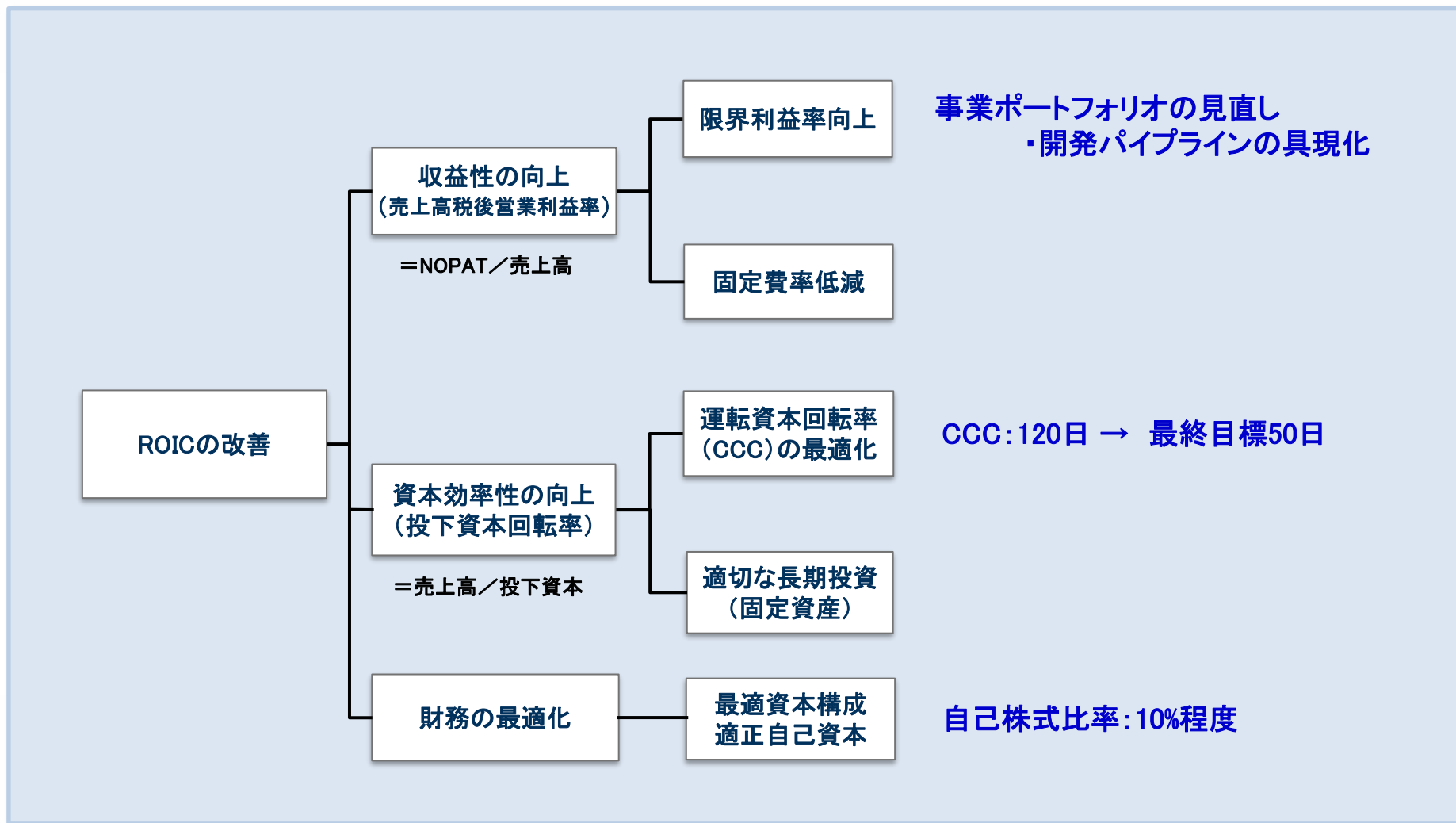
配当予想	中間配当(実績)	期末配当	年間	配当性向
	25	26	51	61.9%

年間配当予想については2023年4月28日に公表した予想値(51円)から変更なし

通期業績予想の下方修正に伴い配当性向は、44.4% → 61.9%



# ■ 主要指標改善への取り組み



# 重点施策 便潜血検査 成長戦略に基づく具体的な取り組み

FITの実績・圧倒的シェアを活かし、国際標準化・新技術で付加価値を高め、新たな顧客獲得

FIT+

検査精度  
向上

OC採便容器を使用した便中遺伝子検査による高精度な検査技術の開発

便中mRNA+便潜血

便中miRNA検査

腸内細菌叢DNA検査

便中メチル化DNA検出法

次世代大腸がん  
スクリーニングの展開

FIT

受診率  
向上

新採便緩衝液

採便後安定性向上による  
国内郵送検診の実現

国内がん検診受診率向上の取り組み  
【がん検診サポート(受診勧奨)】

欧州を中心に国と連携したがん検診受診率向上の取り組み

国際標準化

FY 2023

2024

2025

2026

2027

2028

2029

2030

2035



# 重点施策 注力分野の成長戦略

がん

治療方針の決定  
( Simprova )

治療薬の選択  
( MINTs )

個別化医療の推進

がん治療薬の進歩

乳がん術後再発リスク予測検査

肺がん

他がん種への適応拡大

リキッドバイオプシー対応

がん治療満足度の向上  
がん患者QOL向上

感染症

新興・再興感染症の脅威

気候変動による熱帯病の地理的拡大

TB、マラリア、NTDs 6か国→15か国

ネクストパンデミックに対応できる試薬開発体制の整備

高感度イムノクロマトシステム

高感度POCTデバイス

100日ミッション  
(国際目標)の達成

ヘルスケア

健康意識の高まりと健康管理

高齢化に伴う特有疾患の増加

ニンテスによる認知症予防活動

高機能素材による製品開発

歯周病リスクの評価  
自治体や企業の歯科検診で活用

疾病予防・  
健康寿命の延伸

FY 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2035



## ■ 自己株式の取得・消却

### 自己株式取得に係る事項・消却に係る事項を決議（2024年1月30日）

取得理由： 資本効率の向上、並びに株主の皆様へのより一層の利益還元を図るため

自己株式の取得・消却	
<p><b>【取得】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 取得株式数：270万株（上限）</li><li>✓ 取得総額： 54億円（上限）</li><li>✓ 取得期間： 2024年1月31日～ 2024年6月30日</li><li>✓ 取得方法：<ul style="list-style-type: none"><li>①自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3) による市場買付</li><li>②取引一任契約に基づく立会取引市場における市場買付</li></ul></li></ul>	<p><b>【消却】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>✓ 消却株式数：取得する全株式</li><li>✓ 消却予定日：<ul style="list-style-type: none"><li>・2024年2月9日（100万株）</li><li>・取得する自己株式の全数から100万株を控除した株式の買付が終了した月の次月</li></ul></li></ul>



# ■ サステナビリティ 社外からの評価およびイニシアチブへの参加等

## ■ ESGインデックスへの組み入れ

- FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index



## ■ イニシアチブへの賛同・署名



パートナーシップで感染症と闘う



## ■ 第三者評価・認証・表彰



## 【参考URL】



サステナビリティサイト: <https://www.eiken.co.jp/sustainability/>

マテリアリティとKPI一覧表: [https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs\\_230720jp.pdf](https://www.eiken.co.jp/uploads/Materialities&KPIs_230720jp.pdf)

「栄研化学 統合報告書 2023」: <https://www.eiken.co.jp/ir/integrated>



# Saving Your Health

世界的な臨床検査薬企業として、人々の健康を守り続ける

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

本資料は、一切の投資勧誘またはそれに類する行為を目的として作成されたものではありません。

当社は、本資料の利用により生じたいかなる損害に対しても、一切責任を負いかねます。

